

まきょう苑通信



2023年4月
第28号



発行：医療法人社団 松和会 介護老人保健施設
「まきょう苑」(年4回発行、創刊2016年4月1日)
〒259-1126 神奈川県伊勢原市沼目6-1237
TEL: (0463) 92-8101 ✉ kikyoen@showakai.or.jp

苑庭にも春が訪れました



春の訪れとともに、各地で桜が咲き始めました。

今年、新型コロナウイルス感染症対策の規制緩和により、桜の木の下では多くの花見客で賑わい、桜の鑑賞を楽しまれている姿が印象的でした。

まきょう苑の庭でも、チューリップや芝桜など、色とりどりの花々が咲き、観る人の目を楽ませてくれます。

これからの季節、たくさんのお客さんや花々がまきょう苑の庭を華やかに彩ってくれます。まきょう苑にお越しの際は、ぜひ苑庭にもお立ち寄りください。

(広報委員長 越地 正樹)



入所事業部門

(部門長 布川 幸子)



2022年度までは、感染症予防対策で活動制限があるなかで、在宅復帰強化型施設を目標に各専門職が連携を図り、ご利用者と一緒にリハビリに励んできました。在宅復帰をされた方は、退所をされた方の3分の1程度でしたが、ご自宅の生活に不安がある方も、ご家族の協力や専門職のアドバイスを受け、ケアマネさんと連携を図り、住み慣れたご自宅に戻られています。その中でも、暑さの厳しい時期、寒さの厳しい時期、またはご家族の休息のために月単位でまきょう苑を利用してくださっている方もいらっしゃいます。介護老人保健施設の利用方法の一つとして皆様に知っていただけたら幸いです。

2023年度は、生活リハビリの幅を広げるために、外出(不整地歩行の練習)、買い物、調理訓練など、施設の外にでたりハビリの実施を目標にして、ご自宅での生活を想定した取り組みをしたいと考えています。

通所事業部門

(部門長 宮崎 亮)



2022年度は、個別の目標・目的に合わせて、自らいろいろな活動に取り組んでいただけるよう、リハビリ面では機能回復に限らず、身の回りの動作や家事、社会活動や趣味、仕事などの目標設定を心掛け、リハビリ専門職による個別リハビリ以外の時間でも、目標達成に向けた活動として、自主訓練の充実、介護士などによる個別支援・自立支援などの取り組み・環境調整などを行ってまいりました。その結果、目標を達成され、地域社会への復帰や自立した生活、役割を再獲得された方も多くいらっしゃいます。

2023年度は、計画作成から評価までの過程を分かりやすく説明し、今後の見通しや進行状況、ゴール地点のビジョンを共有していくことで、有意義なリハビリを提供していけるようマネジメント力を向上していければと思います。また、まきょう苑の他部門との連携による切れ間ないリハビリ提供、地域との連携・繋がりを強化し、地域単位での広い視野を持ってリハビリ・在宅支援を行っていききたいと思っております。

新年度に向けて

各部門の取り組みとは・・・

訪問事業部門

(部門長 川口 真男)



2022年度は、コロナ禍が引き続き猛威を振るいましたが、感染症対策の徹底とご利用者やご家族のご協力により、訪問リハビリによる感染はなく、1年を終えられました。

新型コロナウイルス感染症により外出が減り、運動機能の低下が危惧される時期が多かった2022年度でした。こうした中、訪問事業部門では、訪問リハビリ以外にも運動機会を増やし、リハビリ効果を上げていくために、自主訓練用の運動・発声・嚥下などのプログラムを作成し、日々チェック表に実施の有無が記入出来るよう、皆様に勧めてまいりました。そのチェック表は、「自分でやっている」というモチベーションの保持にも役立つと共に、統計的にも自主訓練の実施と効果に繋がることが判りました。

2023年度につきましては、訪問リハビリの最大の強みである、実際の生活環境に合ったリハビリの提供や、自主訓練プログラムの作成・提案を進め、機能改善を図って参ります。

居宅事業部門

(部門長 泉 友之)



まきょう苑居宅介護支援事業所では、ご自宅で生活している方の相談に応じて、可能な限りご自宅での生活を継続するために、必要な介護サービスの検討、調整を行います。

対象は、要介護1〜5までの認定を受けた方になります。まきょう苑は、通所リハビリ、訪問リハビリ、ショートステイなどの居宅サービスを併設しているため、リハビリをしたいとの相談が多くなる傾向にあります。

また、まきょう苑に併設している事業所なので、「まきょう苑の提供しているサービスを使わないといけないか」というご相談を受けることがあります。すべての居宅ケアマネジャーは、公正中立という立場にあるので、ご本人の目的に沿ったサービスを利用することが可能となっています。

2023年度についても、住み慣れた地域で生活を継続したいと希望されるご利用者、ご家族に利用していただけるよう支援してまいります。また、2024年度には介護保険報酬が改定されるので改正の動向についても注目してまいります。

新型コロナウイルス感染症

対応と現状について

コロナウイルス感染症対応の緩和が国内で徐々に開始されております。ききょう苑では、2022年12月20日、入所利用者様のコロナウイルス感染症陽性を初めて確認し、その後クラスターが発生しました。保健所、神奈川県クラスター対策班とも相談しながら、その対応にあたりました。

最終的に32名の利用者様に陽性が確認されましたが、発熱、カタル症状などがみられたのは、11名で、いずれも軽症で治癒しました。その結果、2023年1月17日には、すべての隔離措置は解除され、わずか1ヶ月で、大きな混乱もなくなりました。ご家族様のご理解とご協力に感謝いたします。

現在は、基本的な感染症対策は継続しながら、少しずつではありますが、日常を取り戻しております。緩和のはじめとして、面会の規制です。今までは、ビニール越しにて面会していただいたものを、パーティションを設置し、距離をとり面会していただくようにしました。オンラインの面会は引き続き行っております。

次に、ききょう苑では、体調観察区域を設け、外出後やショートステイご利用者様の体調観察を行ってききましたが、そちらを廃止いたしました。形を変えて、引き続き体調観察してまいります。

今後も、感染状況や、行政・自治体の対応も確認しながら、対応してまいります。引き続き、ご不便などございますが、ご理解の程よろしくお願いいたします。

ご不明な点や気になる点がございましたら、ご連絡をお願いいたします。

(感染症委員長

看護部主任 加藤絢子)



毎年恒例 春の防災訓練



3月1日、夜間想定の大規模訓練を実施しました。昼間の訓練との大きな違いは、職員の人数に限りがあるため、いかに連携を取り合って迅速にできるかが鍵になってきます。今回の夜間訓練も、初期消火、通報、避難誘導まで行い、連携を確認することが出来ました。

さて、ききょう苑防災委員会では、毎年春と夏には避難訓練を実施し、緊急連絡網訓練、防災に関する研修会、備蓄品の管理など年間を通して活動しています。避難訓練は、昼間、夜間、地震など様々な災害を想定し、緊急連絡網訓練では、有事の際に、実際に駆けつけることが出来るのかなども意識して行っています。防災に関する研修会では、実際に消防署職員による研修を受けることもあります。いずれの訓練も毎年繰り返し返していくことで、防災に対する意識の向上、技術の習得を目指しています。

(防災委員長

泉 友之



伊勢原市介護予防教室 2023年度も開催決定!

昨年度、伊勢原市による地域支援事業の一環として、伊勢原東部地域包括支援センター主催の介護予防教室を、大田公民館で半年間行ってきました。

今年度も、4月から1年間、ききょう苑の理学療法士が担当となり、新たに成瀬コミュニケーションセンターで行わせていただくこととなりました。

主な内容としては、健康講座を交えながら健康に役立つ情報発信と、講座に即した体力づくりのための運動です。

参加者のみなさんがつながりを持って楽しんでいただけるよう工夫しながら、本教室の目的である歩行の維持を目指していければと思います。

日時：2023年4月

2024年3月

毎月 第4月曜日

10時～11時

お問合わせ・お申し込み…

伊勢原東部

地域包括支援センター花たば

0463(97)4755



ひな祭り特別弁当

3月3日、ひな祭りのお弁当を入所、通所のご利用者楽しんでいただきました。献立内容は桜ちらし、豆腐ハンバーグ、野菜の炊き合わせ、菜の花の辛子マヨ和え、すまし汁、和菓子でした。おやつにはひなあられを提供し、ひな祭りの雰囲気を感じていただけたようにしました。

お弁当での盛り付けであったため、ご利用者からは、「きれい!」、「おいしそう!」との声が聞かれ、大好評でした。今後も食事から四季を感じ、楽しんでいただけるような食事、喫食を考えた献立をたくさん考えていきます。

(入所事業部門栄養部

主任 木我みな美)



理学療法士学生による実習

ききょう苑リハビリテーション部では、毎年、理学療法学科2年次学生による見学実習の受け入れを行っています。今年の2月と3月に、2名の実習生が実習に訪れました。

通所、そして訪問リハビリの見学だけでなく、そして将来、地域理学療法分野で活躍できる人材を育成するための実習でした。

ききょう苑ご利用者様におかれましては、実習へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

2023年度も実習を予定していますので、引き続きご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

(リハビリテーション部

主任 越地 正樹)



編集後記

今年度から、新たに広報委員会の委員長に就任しました越地です。

今年4回発行のききょう苑通信を通じて、ききょう苑の情報や、健康や生活に役立つ情報などを発信し、ご利用者様はもとより、ご家族様、また、関連先の事業所様や地域にお住まいの方々にも愛される広報誌づくりを目指してまいります。

今年度も、ききょう苑通信をご愛読くださいますようよろしくお願い申し上げます。

(広報委員長 越地 正樹)

